

Michèle Auger 教授ご逝去のお知らせ

Laval 大学 教授 Michèle Auger 先生は 2018 年 10 月 29 日にご逝去されました（享年 55 歳）。先生の早すぎる訃報に、深く追悼の意を表します。

Michèle Auger 先生は、1985 年に Université de Québec を卒業後、University of Ottawa の Ian Smith 教授の指導で 1990 年に Ph D を取得されました。その後、MIT の Robert G. Griffin 教授の研究室で博士研究員をされた後、1991 年より Laval 大学で Assistant professor, 1996 年に Associate Professor, 2000 年より Full Professor として教育・研究に従事されていました。

Michèle Auger 先生は Smith 教授の下で生体膜の研究を始められ、Griffin 教授の研究室で固体 NMR の生体系の応用研究を始められました。このとき TPPM デカップリング法の開発もされています。Laval 大学では生体膜と抗菌ペプチド、人工イオンチャネル形成ペプチドとの相互作用の解明について、固体 NMR や他の物理化学手法を用いて優れた研究成果を上げておられます。

Michèle Auger 先生は NMR 分光法の発展や発信にも尽力を尽くされています。2010 年、2015 年には Pacifichem の生体系の固体 NMR シンポジウムの組織委員をされ、2017 年の ISMAR2017 においては大会会長として国際磁気共鳴会議を開催されました。

2015 年の Pacifichem 会議の前より抗がん治療をされていると聞いておりました。早すぎる訃報に際し、先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

2018 年 11 月 6 日
横浜国立大学 内藤 晶